わかば

学校だより９月号
No２
令和２年９月１８日
柏市立柏第三小学校
校 長 大森　千恵子

しのぎやすい季節となりました

暑さもようやくやわらぎ，しのぎやすい季節となってまいりました。大休憩，昼休みの校庭では，子どもたちの屈託のない笑顔，友達と楽しそうに駆け回る姿が見られ，コロナ禍であることを一瞬忘れさせてくれます。しかし，柏市ではクラスターも発生しており，気を緩めることなく今後も感染予防に取り組んでまいります。併せて，先日，文部科学大臣からのメッセージがあったように，新型コロナウイルスを理由としたいじめや偏見がないよう，思いやりの心の育成に努めてまいります。保護者の皆様におかれましても，ご配慮をお願いいたします。

3年生「市内めぐり」に行ってきました！！

校外学習のトップバッターは３年生。
バスの中の３密を避けるため，午前は，２・３・５組，午後は１・４組と分けて実施しました。車窓から，大津ヶ丘団地・沼南工業団地，西部消防署，柏警察署を見学し，土地の使われ方や交通の様子，目立つ建物を見つけながらの学習です。「道の駅しょうなん」では，バスを降りて見学しました。実際に見学し，気付いたことや新たに疑問に思ったことをこれからの学習に活かしていきます。

子ども県展への取組ついて

本校では例年，図工の授業で制作した絵画作品の中から，希望者の作品を「子ども県展」に出品しておりました。しかしながら，今年度はコロナウイルス感染拡大防止のため，約２ヶ月間臨時休校となり，夏休み・冬休みを短縮化し学習の遅れを取り戻すため授業を進めています。現時点では，学習の遅れは取り戻しつつありますが，今後も予断を許さない状況であることを考慮し，今年度については，「子ども県展」への出品を見合わせることにいたしました。ご理解のほど，よろしくお願い申し上げます。

遊びの中に笑いや感動

令和２年８月２８日（金曜日）付け読売新聞に，「こどもの詩」が掲載されていました。

・男児がブロックを踏んで痛がった時，保育者と近くにいた２才女児とのやりとり。
保育者（男児をなでてあげながら）「いたいの，いたいの遠くのお空に飛んでいけー」
女児「お空はダメだよ。おじいちゃんがいるから」（宇都宮市・泉が丘保育園）
大好きなおじいちゃんが亡くなったそうです。「『お外の遠くにとんでいけー』と言い直しました。女の子の優しさに涙があふれてしまいました。と保育者。
コロナ禍で気持ちが塞ぐこともありますが，子どもたちにはこのような状況の中だからこそ，優しさや思いやりを育んでいきたいと思います。